

NTTファイナンスが発行する「NTTグループカード」を騙るフィッシングにご注意!?

NTTファイナンスと言えば、NTT・ドコモなど請求書関係において、よく目にする身近な企業ではないでしょうか。

このNTTファイナンスのサービスで、NTTグループカードが7月末に終了。このサービス終了に乗っかったフィッシング詐欺が横行しています。

このフィッシングメールは、『NTTグループカードをご利用いただいた皆様に対して、素敵なプレゼントを無料で送付する』というメールを送り、個人情報を入力させ搾取しています。一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンターに事務局をおく、フィッシング対策協議会は 4月10日、NTTグループカードを騙るフィッシングの報告を受けているとして、注意喚起を発表しています。

このフィッシングメールは、『NTTグループカードをご利用いただいた皆様に対して、素敵なプレゼントを無料で送付する』というメールを送り、個人情報を入力させ搾取しています。一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンターに事務局をおく、フィッシング対策協議会は 4月10日、NTTグループカードを騙るフィッシングの報告を受けているとして、注意喚起を発表しています。

メールの文面は、NTTグループカードのサービスが終了するとして、メールの受信後24時間以内に両替しないと期限が切れるとして、リンクをクリックさせようとします。 確認されたフィッシングサイトのURLは次の通りです。

https://www.ida .com/ https://www.rev .com/ https://www.mod .com/ https://www.use .com/

●●●●部分は伏字しています。

また、これ以外のドメインやURLが使われている可能性や、URLにパスやパラメータが付いていることもあります。 4月10日15時の時点でフィッシングサイトは稼働中で、フィッシング対策協議会このようなフィッシングサイトに、

MyLink 会員 ID、パスワード、代表者名(姓、名、セイ、メイ)、電話番号、郵便番号、都道府県、住 所、生年月日、カード番号、有効期限、セキュリティコード等を、絶対に入力しないよう、注意を呼びか けています。



*NTTファイナンスより抜粋



*実際のフィッシングサイト



フィッシング対策にはクラウドセキュリティ Harmony!!

- ◆ 以前に比べ「怪しいメール」を判断しづらい
- ◆ メール経由の標的型攻撃やランサムウェア等の攻撃が増えた
- ◆ パスワード付き添付ファイルの検査ができない

今回の様なNTTファイナンスの事案も含め、メールを経由した攻撃は後を断ちません。一昔前までは、『怪しいメールを開かない』という声掛けで防いでいましたが、 現在は見分けがつかず巧妙化し、被害も拡大しています。

これらを解決する『Harmony Email & コラボレーション』は

- ◆ 悪質な添付ファイルをブロック
- ◆ ゼロフィッシング対策
- ◆ パスワード付きファイルの検査
- ◆ アノマリー検知

機能を備える、クラウド型アドバンストメールセキュリティとして、 悪意あるメールから企業を守ります!!

Harmony Email & Collaboration



- ◆ 攻撃者が迂回できないセキュリティ対策
- ◆ クラウド標準セキュリティ機能との併用可
- ◆ AI / MLベースのセキュリティ対策
- ◆ クラウドサービス内容に組み込まれた API型セキュリティ
- ◆ 他のAPI型製品では対応できない、 受信前のセキュリティ検査が可能

悪質な添付ファイルをブロック

- ・添付ファイルを無害して提供
- ・バックグラウンドでファイルをスキャン、悪質な場合はブロックします

ゼロフィッシング

数秒で300以上の指標を分析、フィッシングサイトを判定します

パスワード付きファイル検査機能

今後増加が予想されるパスワード付きZipファイルによる添付マルウェアも検査可能

アノマリー(異常行動)検知機能

普段と違う国からのメールや、不自然なメールの大量送付などによる異常行動を検知します



Workforce Security Total SASE Solution



フィッシング対策には

Harmony Mobile Harmony Browse&

効果を発揮します!!

Harmonyシリーズの デジタルカタログは https://cp-smb.com/catalog

